



夏休みが終わり、前期の後半が始まりました。

長い夏休みも終わり、8月26日(水)から前期後半がスタートしました。今年の夏は色々と忘れられない夏となりました。ご存じのとおり、7月28日に発生しました熊本地震では熊本県の南部地方を中心に大きな被害を受けました。私は昨年度まで八代市の学校にお世話になっておりましたので、知り合いの児童生徒や保護者、先生方が多くおり、安否等も含め、心配しました。まだまだライフラインの復旧ができない地域、引っ越しを余儀なくしなければならない元同僚、避難所生活をしている知り合いや親戚も多くいます。学校によっては、再開できず、やむを得ず、別の学校で再開する学校もあるようです。友人もかなり被害を受けていることもあり、片付け等にも手伝いといったところです。

まだまだ余震もあり、気が休まりませんが、そんな中でも必死に生活している方々を見ると、自分には何が出来るかということを再び考えるきっかけとなりました。思い起こせば10年前の熊本地震の際は、阿蘇市の一の宮小学校で勤務しており、大きな被害を受け、避難所運営の手伝いをしたことを思い出しました。あれから10年、このような災害が再び起きてしまったことは大変、残念で怖いことですが、自然災害はいつ起きるか分かりません。この小国地域でも何が起きるかは分かりません。だからこそ、備えと心構え、そして、自助、共助ができる組織や人間関係を常に構築していくことを意識したいと思います。学校でもいのちの教育、防災教育、安全教育等様々な観点から、学ぶようにしていきます。また、自分たちができることを考えて、この当たり前に学習、生活できることに感謝していければと思います。

夏休みを終えて

夏休みはどのように過ごせたでしょうか。部活動や学習会、フォローアップスクール等、学校に顔を出す生徒もたくさんおり、生徒によっては毎日会う生徒もいました。逆に全く顔を見ることのない生徒もおり、それぞれの夏休みを過ごせたのだらうと推測していました。

さて、そのような中、夏休み中の様子についてお知らせします。まずは、部活動や地域クラブの活躍です。まずは、全日本ホッケー九州予選と本大会です。九州大会は宮崎県で行われ、実力が拮抗しているチームばかりの中、男女とも素晴らしいプレーを見せてくれました。残念ながら男女共、全国大会出場とはなりませんでしたが、男子が全国大会への参加をすることができました。全国大会になると強豪チームばかりで、体格も大きく、技術も素晴らしい選手ばかりでした。7年生、8年生が中心の小国中男子ホッケーでしたが、最後まで走り抜きました。結果は予選敗退でしたが、この経験を活かして男女共に次年度へ向けて取り組んでくれることを期待しています。また、福岡県で行われた九州中体連バドミントン大会では、男女団体及び個人戦があり、団体は残念ながら2回戦で敗退しましたが、個人戦では、9年生の中村太陽さん、東未来翔さんのダブルスペア、緒方愛さん、佐藤怜美さんのダブルスペアが全国大会へ出場しました。全国大会では、強豪選手ばかりの中、自分たちのプレーができていたのではないかと思います。9年生にとっては、最後の大会になった生徒も多いと思いますが、努力してきたこの経験は、これからの人生に大きく影響することだと思います。次の目標に向かって取り組んでくれることを期待しています。

他にも、夏休み中は、寺子屋やフォローアップスクールで課題に取り組む様子や水泳教室で取り組む姿が多くありました。



九州中体連大会（8月6日～8日）福岡県

○バドミントン 女子ダブルス **3位** 佐藤 怜美さん・緒方 愛さん
男子ダブルス **3位** 中村 太陽さん・東 未来翔さん

全日本中学生ホッケー選手権九州予選（7月25日26日）宮崎県

○ホッケー 女子 **3位** 男子 **準優勝**

◆ホームページ随時更新中！

<https://jh.higo.ed.jp/oguni/>

